

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎ 0120-232-711 (通話料無料) URL:https://www.tr.mufg.jp/daikou/
期末配当金受領株主確定日	3月31日	
中間配当金受領株主確定日	9月30日	
定時株主総会	毎年6月	電子公告により行います。 公告掲載URL:https://www.mirait.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告ができない場合は、日本経済 新聞に公告いたします。)
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	

### 株主優待制度について

毎年3月31日現在の当社株主名簿の記録により、同一株主番号で100株以上を1年以上保有していることが確認できる株主様を対象にQUOカードの贈呈(毎年7月下旬発送)または同等額の社会貢献活動団体(公益財団法人スペシャルオリンピックス日本)への寄付をお願いいたします。

所有株式数 継続保有期間	100株以上	1,000株以上
1年以上	1,000円	2,000円
3年以上		3,000円

- (注1) 継続保有期間の判定は、3月31日を基準とさせていただきます。  
 ・1年以上保有とは、株主名簿(毎年9月30日及び3月31日)に100株以上の保有が同一株主番号で3回以上連続して記録されたことをいいます。  
 ・3年以上保有とは、株主名簿(毎年9月30日及び3月31日)に100株以上の保有が同一株主番号で7回以上連続して記録されたことをいいます。  
 (注2) 相続、株主名簿からの除籍等により株主番号が変更になった場合は、変更後の株主番号において継続して保有した期間により判定いたします。  
 (注3) 株主優待のご案内と申込書については、定時株主総会の招集ご通知に同封しお送りいたします。

### 社会貢献活動団体への寄付のご報告

2019年7月に贈呈の株主優待分につきましては、216名の株主の皆様よりお預かりいたしました総額431,000円を公益財団法人スペシャルオリンピックス日本に寄付させていただきました。ご賛同いただきました株主の皆様に、心より御礼申し上げます。

### 単元(100株)未満株式の買取・買増請求について

単元未満株式につきましては、証券市場で売買することはできませんが、以下の方法により整理していただくことができます。

#### 【単元未満株式の買取請求】

当社に対し、ご所有の単元未満株式の市場価格による買取を請求することができます。

#### 【単元未満株式の買増請求】

当社に対し、単元株式に不足する株式数の市場価格による買増しを請求し、ご所有の単元未満株式と合わせて100株にすることができます。

単元未満株式を証券会社の口座でご所有の株主様と特別口座でご所有の株主様とでは、お申し出先が異なります。下記「ご注意」をご参照ください。

#### ご注意

- 証券会社に口座を開設されている株主様の住所変更、買取及び買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている証券会社で承ることとなっております。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座でご所有の株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



## 株式会社 ミライト・ホールディングス

本社所在地:〒135-8111 東京都江東区豊洲5-6-36  
 電話:03-6807-3111(代表) URL:https://www.mirait.co.jp/



環境保全のため、  
植物油インキを使用し  
印刷しています。

HPIはこちらから  
ご確認ください。→



## 株式会社 ミライト・ホールディングス

証券コード:1417



# MIRAIT

## 第10期 ミライトレポート

### 中間のご報告

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日



こちらから  
「会社案内動画」が  
ご視聴いただけます!

2019 INTERIM BUSINESS REPORT



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループ事業へのご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当社グループは、現在、前年度に実施した経営統合によって深化した地域カバレッジと人材基盤を活用し、「総合エンジニアリング&サービス会社」として、さらなる企業価値の向上を図るため、新たな事業機会の創出とグループ運営体制の強化を推進しております。

以下に上半期の事業状況をご報告し、通期の見通しについてご説明させていただきました。ご一読のほどよろしくお願ひ申し上げます。

2019年11月

代表取締役社長 鈴木 正俊

メッセージ

## 通信環境、社会構造の変化に対応し、「総合エンジニアリング&サービス会社」としてさらなる企業価値の向上と持続的な成長に努めてまいります。

Q 上半期の取り組み・業績について教えてください。

情報通信分野においては、お客様である通信キャリアのビジネスモデルが変化しているなか、移動体通信では第4世代移動通信システム(4G)において新たな周波数帯でのサービスが拡大していることに加え、今後は第5世代移動通信システム(5G)を活用した新たなサービスの提供が期待されています。さらに、本格的なIoT時代の到来に向けて、Wi-Fi、センサー、クラウドなど新たなソリューションに対する需要が高まるとともに、東京オリンピック・パラリンピック開催を来年に控え、首都圏を中心に高度成長期以降に整備された社会インフラの再構築が加速しております。また一方で、少子高齢化、働き手不足、働き方改革が問題となるなど、当社グループを取り巻く事業環境は大きく変化しております。

こうしたなか、当社グループは、前年度に実施した(株)TTK、(株)ソルコム、四国通建(株)との経営統合を機に、2019年度をスタートとする3ヶ年の中期経営計画(2021年度目標:売上高4,500億円、営業利

益270億円(営業利益率6.0%)、ROE8%以上)を策定し、データセンターの運用・保守などのストックビジネス、環境・エネルギー、グローバルなど多くの成長分野(フロンティアドメイン)における事業拡大、既存事業の生産性向上、統合シナジー追求による経営効率化に取り組んでおります(事業区分別概況につきましては3ページをご参照ください)。

さらに、グループ運営体制の強化を推進するため、2019年6月に(株)ソルコムマイスタとアイネット通信(株)の合併を実施いたしました。

一方、株主還元の充実と経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の一環として、自己株式の取得(合計 650万株、104億5千3百万円)を実施いたしました。

以上の結果、上半期の業績につきましては、売上高は**1,829億7千3百万円**(前年同四半期比30.4%増)、営業利益は**49億5千8百万円**(同1.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は**33億5千2百万円**(同6.9%減)と、当初計画に沿って進捗いたしました。



経営の基本理念

1. 情報通信を核とし、常に新しい価値を創造する「総合エンジニアリング&サービス会社」として、**お客様から最高の満足と信頼を得られる日本のリーディングカンパニーを目指します。**
2. 安全と品質を大切に、最高のサービスを提供することによって**豊かで快適な社会の実現に寄与します。**
3. 企業の社会的責任を果たし、常に人間を尊重する企業として、**人や社会と共存共栄する企業であり続けます。**

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

通期業績につきましては、当初計画通り売上高は**4,300億円**(前期比14.4%増)、営業利益は**215億円**(同3.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は**150億円**(同41.7%減)を予想しております。

事業環境の変化が継続するなか、当社グループはフロンティアドメインにおける事業領域の拡大と経営統合各社とのシナジー追求により、「総合エンジニアリング&サービス会社」として、さらなる事業基盤の強化と企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



### NTT事業

上半期売上高 **657億円**

前年同期比 **+206億円(45.7%)増**

- NTTグループの固定系通信設備の建設・保守



光開通工事

継続的な設備改善提案や設備運営業務の拡大等により、上半期売上高は657億円(前年同期実績451億円)となりました。

一方で、人材の共有、KAIZENの取り組み、システムの統一など、統合シナジーによるグループ運営体制の強化にも取り組んでいます。

### マルチキャリア事業

上半期売上高 **387億円**

前年同期比 **+20億円(5.4%)増**

- 全モバイルキャリアの通信設備の建設・保守
- NCC向け固定通信設備、CATV工事、グローバル等



携帯基地局建設工事

5Gプレサービス施設工事の実施、新周波数関連工事の本格化、新キャリア向け工事への参入等により、上半期売上高は387億円(前年同期実績367億円)となりました。

一方で、キャリア事業ごとの検討タスクフォース立ち上げや、システム化推進など、統合シナジーによる生産性向上にも取り組んでいます。

### 環境・社会イノベーション事業

上半期売上高 **265億円**

前年同期比 **+80億円(43.2%)増**

- 環境・新エネルギー関連
- 社会インフラ構築
- 電気・空調設備の建設・保守



電線地中化工事

大型太陽光発電設備工事や土木工事の完工増加により、上半期売上高は265億円(前年同期実績185億円)となりました。

一方で、電線地中化、道路関連設備工事などインフラ整備関連工事の拡大や、新エネルギーにも取り組んでいます。

### ICTソリューション事業

上半期売上高 **519億円**

前年同期比 **+121億円(30.4%)増**

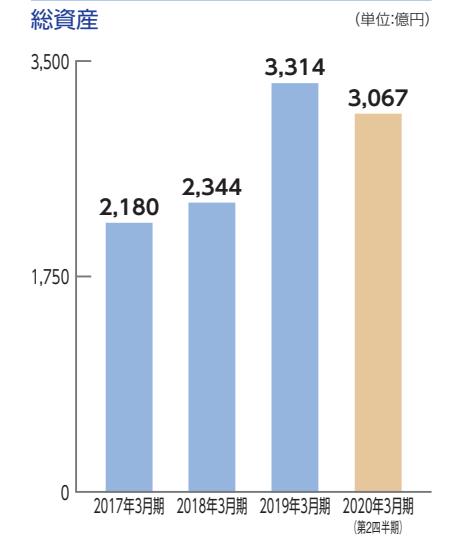
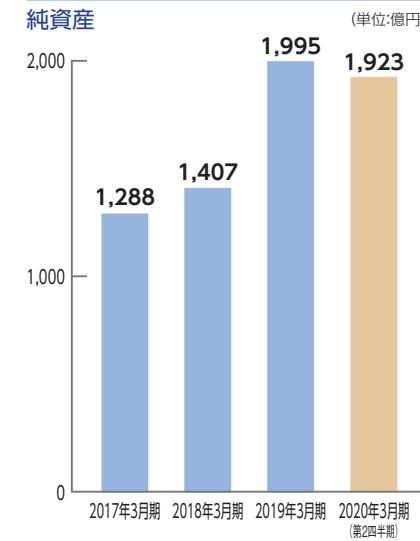
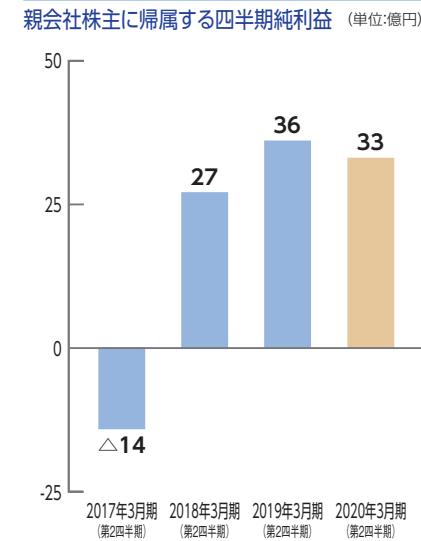
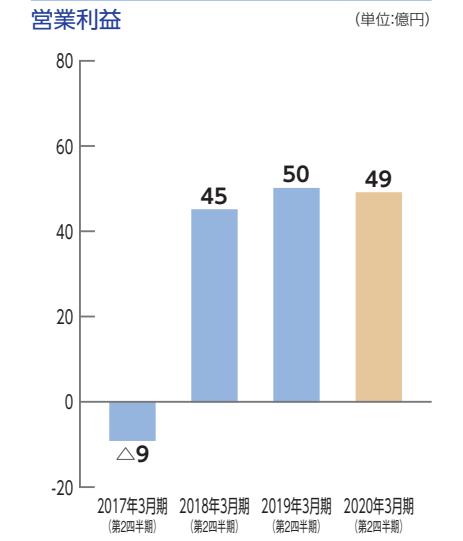
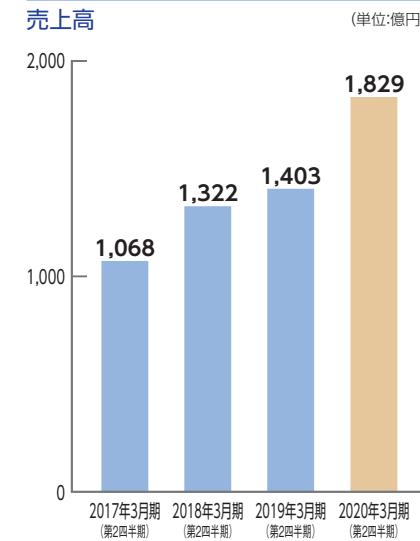
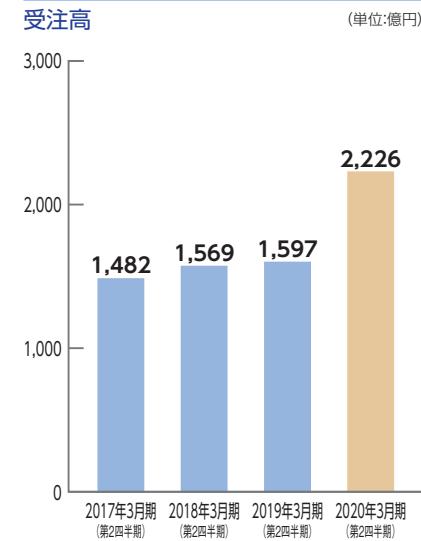
- クラウド・オフィスソリューション・Wi-Fi・ソフト・放送波等
- 情報通信システムの建設・保守



LAN配線工事(Lantrovision)

国内におけるLAN・PBX配線工事の完工増加や大阪第1データセンターのフル稼働運用開始等により、上半期売上高は519億円(前年同期実績398億円)となりました。

一方で、ドローン事業におけるアライアンス推進や、ラントロビジョングループとの相互顧客紹介によるグループ運営強化にも取り組んでいます。



ミライトグループでは、通信インフラの設備構築で培った技術力を活用し、様々な分野で、快適かつ安全・安心な社会の実現を目指した活動を展開しています。国内事業会社の上半期の取り組みについてご紹介いたします。

### ● データセンター事業の取り組み ～全フロア提供を完了しフル稼働運用開始～

㈱ミライト・テクノロジーズは、2016年10月より自社データセンターである「大阪第1データセンター」の建設を進め、2018年6月サービス開始、2019年5月全フロア提供を完了し、フル稼働運用を開始いたしました。

この「大阪第1データセンター」は、大阪市内における最大級のデータセンターとして、コストパフォーマンスに優れた最新のファシリティ&オペレーションの提供、各種設備や運用仕様の柔軟な対応など、「高品質」、「低コスト」、「柔軟性」を兼ね備えた次世代データセンターサービスを提供しております。

関西エリアのネットワークHUB拠点である大阪堂島エリアと同等の高速・大容量かつ高品質・信頼性に優れたキャリアフリーのネットワーク接続環境を利用でき、導入した設備は、全国でもトップレベルの電力使用効率を実現するとともに、様々な災害に耐える仕様を備えています。

今後は、ここで蓄積した実績やスキルを元に、他のデータセンターの設備構築や運用業務の受託など、ミライトグループの新たなビジネスのきっかけとなるよう努めてまいります。



大阪第1データセンター（イメージ）

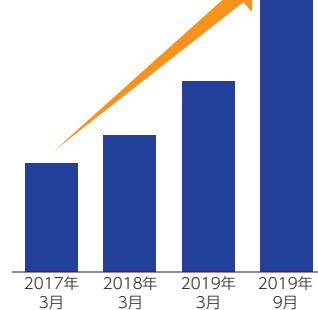
### ● Wi-Fiを活用したサービスプラットフォームの拡大

～ホテル御三家を含めた全国35施設へ客室設置型タブレット『ee-TaB\*<sup>®</sup>（イータブ・プラス）』を導入～



タブレットイメージ

ee-TaB\*<sup>®</sup>の導入台数推移（累計）  
（単位：台）



㈱ミライトでは、公共施設等Wi-Fiネットワーク環境の提供に加えて、『ee-TaB\*<sup>®</sup>（イータブ・プラス）』などのサービスプラットフォームの拡大にも取り組んでいます。

『ee-TaB\*<sup>®</sup>』は、ホテルや旅館の館内情報をはじめ、新聞やルームサービス、館内施設の混雑状況、また、清掃業務の効率化を可能にする機能等、ゲストの利便性とホテルの生産性の双方を高める多彩な機能を有し、ホテル御三家を含めた全国35施設へ約7,500台を導入しております。

今後も様々な分野での利用拡大に向け、各施設のニーズに応じたサービスを提供していきます。

## ESGの取り組み

● Environment ● Social

### ● より安全で快適な環境を実現 ～「TTKベルト式ネットフェンス」の開発・販売～

㈱TTKは、樹脂製のベルトを格子状に組み合わせた耐久性・耐候性に優れたネットを利用した、環境に優しく、景観を妨げにくいデザインと豊富なバリエーションで、道路や公園、公共施設などを風や雪などから守る、「TTKベルト式ネットフェンス」\*の開発・販売を行っております。

経営統合により幅広い分野やエリアでの展開を目指し、より安全で快適な環境の実現に貢献してまいります。

\*「TTKベルト式ネットフェンス」は、「第11回みやぎ優れモノ」に認定され、「建設技術フェア2019in中部」や「建設技術展2019近畿」など各種展示会へ出展しております。



TTKベルト式ネットフェンス

### ● 地球環境保護に貢献 ～給排水管セルフクリーニングシステム「ナノゲート」を全国展開へ～



ナノゲート

㈱ソルコムが提供する「ナノゲート」は、ビル内の給水管から水関連設備、排水管まで効果の及ぶ給排水管浄化システムで、赤サビによる腐食や雑菌の繁殖などの原因となる水アカや尿石の固着を防ぐことにより、給排水管の延命はもちろん、トイレやキッチン、浴室などあらゆる水回り設備において、強力な洗剤や薬剤を極力使用することなく、低コスト、低労力でのメンテナンスが可能となります。

経営統合を機に、全国提供を開始することで、地球環境保護に貢献していきます。

### ● 地域社会に貢献 ～「岩城橋」工事を施工～

四国通建(株)は、離島同士の合併により誕生した愛媛県越智郡上島町にある岩城島と生名島を結び、すでに開通済みの「弓削大橋」、「生名橋」とともに町内、4島の生活利便性の飛躍的向上、地域医療や福祉の連携に貢献するなどの効果が期待される「岩城橋」の下部工を施工中です。

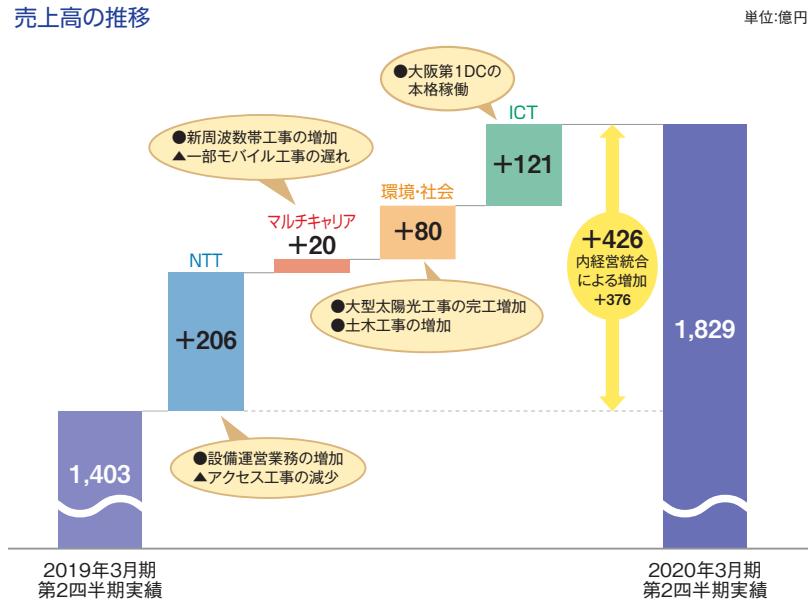
現在、請負った3工事のうち2工事を竣工しておりますが、残り1工事（2019年12月完成予定）についても、安全を心掛け無事に竣工させることで、地域社会に貢献していきます。



下部工の様子



連結損益計算書のポイント



Point 連結業績について

売上高は前年度に実施した統合各社の業績寄与や、4Gの新周波数帯工事の増加に加え、大型太陽光発電設備工事の完成推進や、LAN・PBX配線設備工事の増加、大阪第1データセンターの本格稼働などにより全事業区分で増加し、1,829億円(前年同期比426億円増)となりました。

営業利益は、子会社の増加に伴う販管費の増加などにより49億円(前年同期比1億円減)となりました。

連結貸借対照表のポイント

連結貸借対照表 単位:億円

2019年3月末		2019年9月末	
<b>資産</b> 3,314 (内訳)	<b>負債</b> 1,319 有利子負債 300 (内借入・社債 202) (内リース債務 98) 工事未払金等 508	<b>資産</b> 3,067 (内訳)	<b>負債</b> 1,144 有利子負債 262 (内借入・社債 161) (内リース債務 101) 工事未払金等 465
流動資産 2,110 (内現預金等 382) (内完成工事未収入金等 1,333)	<b>純資産</b> 1,995 (内訳)	流動資産 1,817 (内現預金等 350) (内完成工事未収入金等 909)	<b>純資産</b> 1,923 (内訳)
固定資産 1,203 (内有形固定資産 788) (内無形固定資産 70)	資本金 70 資本剰余金 715 利益剰余金 1,242 自己株式 △96 非支配株主持分 31	固定資産 1,250 (内有形固定資産 818) (内無形固定資産 66)	資本金 70 資本剰余金 714 利益剰余金 1,255 自己株式 △189 非支配株主持分 30

自己資本 1,892  
自己資本比率 61.7%

Point 資産、負債及び純資産の状況

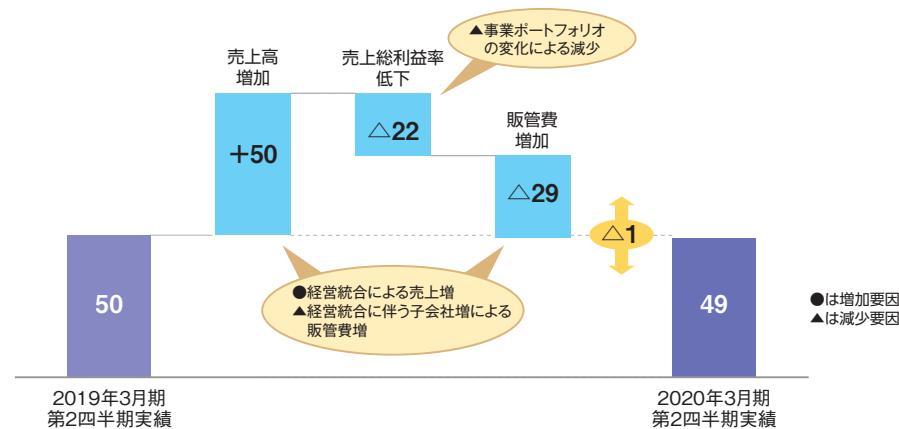
総資産は、完成工事未収入金等の売掛債権が減少したことなどにより3,067億円となりました。

負債は、工事未払金等が減少したことなどにより1,144億円となりました。

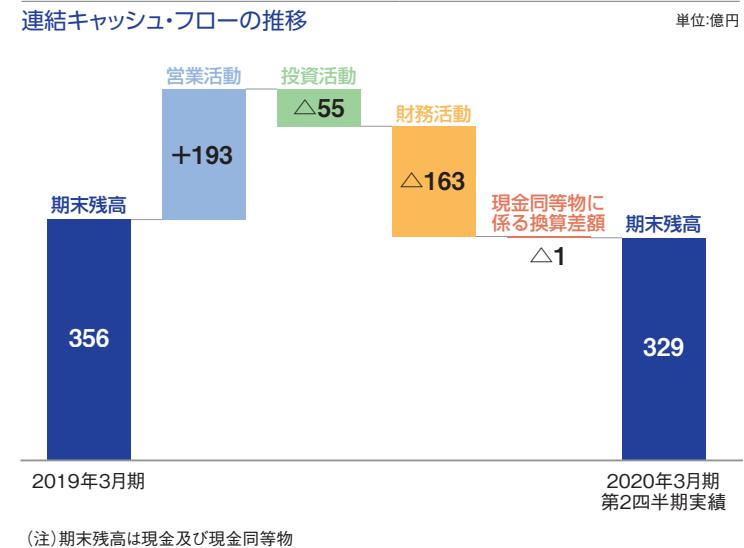
純資産は、自己株式の取得などにより1,923億円となりました。

この結果、自己資本比率は61.7%となりました。

営業利益の推移 単位:億円



連結キャッシュ・フロー計算書のポイント



Point 営業活動によるキャッシュ・フロー

未成工事支出金等の増加はあったものの、売上債権の減少などにより193億円の増加となりました。

Point 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得などにより55億円の減少となりました。

Point 財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式の取得などにより163億円の減少となりました。



## 会社概要

商号	株式会社ミライト・ホールディングス 英文表記:MIRAIT Holdings Corporation
設立	2010年10月1日
本店所在地	〒135-8111 東京都江東区豊洲5丁目6番36号
電話	03-6807-3111 (代表)
資本金	7,000百万円
事業内容	電気通信工事、電気工事、土木工事、建築工事及びこれらに関連する事業を行うグループ会社の経営管理等
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)
決算期	3月31日
連結子会社数	73社
従業員数(連結)	12,704名

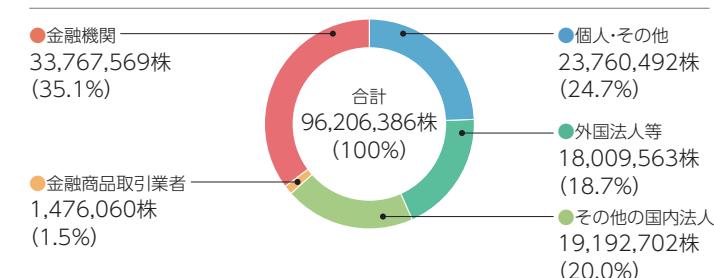
## 役員

代表取締役社長	鈴木 正俊
代表取締役副社長	高畠 宏一
代表取締役副社長	中山 俊樹
取締役	原 隆一
取締役	山本 康裕
取締役	遠竹 泰
取締役	塚本 雅一
取締役	土肥 幹夫
取締役	平原 敏行
取締役(社外)	海老沼 英次
取締役(社外)	馬場 千晴
常勤監査役	桐山 学
常勤監査役(社外)	関 裕
監査役	細川 雅由
監査役(社外)	石川(勝丸) 千晶

## 株式の状況

発行可能株式総数	330,000,000株
発行済株式総数	108,325,329株 (うち、自己株式の数12,118,943株)
株主数(自己株式除く)	19,619名

## 所有者別株式数 (自己株式除く)



## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	100,699	10.47
住友電気工業株式会社	95,605	9.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	55,957	5.82
住友電設株式会社	24,886	2.59
ミライト・ホールディングス従業員持株会	19,415	2.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	15,816	1.64
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	15,592	1.62
株式会社みずほ銀行	13,005	1.35
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	13,004	1.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	12,094	1.26

※1.持株比率は当社所有の自己株式(12,118,943株)を控除して計算しております。  
※2.持株数は百株未満を切り捨て、持株比率は小数点第2位未満を四捨五入して表示しております。

## 主なグループ会社

会社名	設立年月	資本金	本店所在地	従業員数
株式会社ミライト	1944年12月	5,610百万円	東京都江東区豊洲5丁目6番36号	5,164名
株式会社ミライト・テクノロジーズ	1960年6月	3,804百万円	大阪府大阪市西区江戸堀3丁目3番15号	3,093名
Lantrovision(S) Ltd	1992年6月	59百万シンガポールドル	シンガポール共和国	1,009名
株式会社TTK	1955年2月	2,847百万円	宮城県仙台市若林区新寺1丁目2番23号	1,088名
株式会社ソルコム	1947年4月	2,324百万円	広島県広島市中区南千田東町2番32号	1,575名
四国通建株式会社	1949年3月	450百万円	愛媛県今治市南大門町一丁目1番地の15	675名

## ● 株主還元について

当社の株主還元は、安定的・継続的な配当を維持しつつ、業績・資金状況等を勘案し、総合的に判断することとしております。

当期の中間配当金につきましては、昨年と同様の1株当たり20円とさせていただきます。

なお、期末配当金についても、1株当たり20円を予定しており、これによる年間配当金は40円となる予定です。

また、上半期までに自己株式の取得(合計104億円)を実施いたしました。

## 株主還元の推移

